

第26回市民ふれあいトークー地域力を活かすまちづくりー

日時 平成23年4月12日 18:30～20:00

場所 倉敷南公民館

要約版

《市長》

最初に今倉敷市が取り組んでおりますこと等についてお話をさせていただきます。今、倉敷市だけではなく全国的に東日本の震災の事が日本国が一番の大きな懸案事項となっております。その前段としまして、2月中旬に発生いたしました倉敷市の姉妹都市でありますニュージーランドのクライストチャーチの地震がございました。この中でも行かれた方もいらっしゃるかと思いますが、倉敷市の姉妹都市かつ日本国とニュージーランド国との間の初めての姉妹都市縁組だったのですが、よくテレビで皆さんが見て下さる中心部の大聖堂も崩壊しまして、姉妹都市としては何か少しでもお手伝いができないかと、すぐに市の方から救命救急士を含めまして消防士を始め3名現地の方に派遣いたしました。テレビで見られました非常に悲惨なビルの区域は実は区切られておりまして、軍と日本国からは国が派遣した消防隊だけが入れることになりましたので、倉敷市としましては現地の姉妹都市委員会と協力しまして、粉塵の片付けや、カンタベリー大学でボランティア救援活動と一緒に参加したりして、現地での活動を手伝って約一週間後に帰ってきたわけでございます。帰ってきましてその報告会等をしておりまして、ニュージーランドへの義援金を皆で集めていこうと話をしておりまして、3月11日に東日本の大震災が起こりまして、これは本当に大変なことだということになりました。倉敷市もすぐ次の日にまず倉敷市の大きな車両が7台、それから火事が起こって化学にも対応できるような化学車7台と23名の消防隊と、給水部隊の方もまず宮城県の仙台市、塩釜市、多賀城市の方に派遣をしました。現地の方では本当に悲惨な状況で、水を汲まれるのにも何百メートルも列をなしていらっしゃる状況でしたが、うちの消防部隊給水の皆が帰ってきて言いますには、車に岡山県の倉敷市の消防局と書いてあると。それを見ましたら現地の方がまちの所で手を合わせて拝むようにして大変遠くから来てくれて嬉しいと言って下さったり、本当に全国から助けに来てくれていることに大変な中で元気ももらっていると口々に言ってくれたそうであります。そして消防隊、給水隊に引き続きまして医師と保健師を現状では一番多く岩手県の大船渡市の方に出しております。よく今東北の天気ということで、気仙沼と大船渡とか石巻がよく出るんですが、大船渡市はサンマが有名な所だと聞いております。歌手では新沼謙治さんの出身地だと伺いました。もちろんもともと全く繋がりはありませんでしたが、いち早く現地の方から避難所の手当てをしてもらいたいということで岩手県の方から来ましたので、そこへ今恒常的に避難所の担当ということで何箇所もある避難所へ人を出しております。さらに今追加で人を派遣しようと検討している段階であります。

そして福島県が原発で非常に大変な事になっております。福島県の郡山市といわき市がわれわれ中核都市の仲間です。こちらの方からも人はいるけれども、物が入って来ないと。なかなか水や救援物資が入って来ないので、こちらの方に優先して回してもらいたいと連絡がありましたので、市のトラック、民間のトラックもお願いをしまして市であります救援物資を持って行っております。そして岩手県大槌町、大きな槌と書くまちですが、明日の朝大槌町に市の方から学生服を持っていくことになっております。こちらは大船渡の地域の所で活動している中で現地の小、中学生が服も何もかもなくなったという話

があり、4月のだいたい20何日くらいに入学式があるそうです。その時にせめて服だけでも何とかならないかとお話がありました。児島に県のアパレル工業組合がありまして、ご存知のように児島は全国一の学生服の産地ですので、相談をしたらだいたい大槌町民の子どもさんたちが通う数ぐらいの学生服と小学生のジャージもサイズももちろんバラバラですが、提供してあげましようと言って頂き、明日それを市の職員が積みまして現地へ持っていく予定になっております。

ご存知のように現地では大変なガレキが発生しておりまして、一年間のごみの量の何十年分、多い所では百年分くらいのごみになっていると伺っております。その中で宮城県松島市という所も凄く被害を受けた所でございますが、そちらの方からガレキの撤去するのに車と人手が足りないということで、今日の朝倉敷市の環境部の職員をパッカー車とトラックと2台と職員6名で現地の方に行きまして、松島市の方を手伝ってすることになっております。今あちらこちらの方に何箇所も職員さんを出しておりますが、東北の宮城、岩手県を中心として長い援助になるかと思っているのが現状でございます。倉敷市の方には市営住宅を含めまして何十人かの方が来られています、なかなかこちらの方からも呼び掛けをしているわけですが、ちょっと遠いということで、こちらに集団で来ましようとは今のところなっていないのも現状でございます。当初部落単位で避難をという話も呼び掛けをしたんですが、できれば秋田や山形とか近くに親戚がいる所がという話になっているみたいでして、病気を持たれている方、透析患者さん等がこちらの方にいらっしゃることはあるわけですが、まち単位では今のところ遠いのでということにはなっております。これからまだ福島のこととか分かりませんので、こちらに来られる場合には地域をあげて支援をしていきたいと全般としては思っている次第です。これが原発、震災に関することでございます。息の長い支援をしていきたいと思っております。

倉敷市全般のことにつきまして、今年平成23年度ですが、市内の各地域におきまして、いろいろな大きな変革が起きる、また新しい施設がオープンするという年になってます。まずこの倉敷中心部につきまして一番大きく変わっていくと思われておりますのが、何といたしましても駅の北のチボリ公園の跡地の所の整備が大きく変わっていくと思っております。震災の影響も少しあるかも知れないとも思うのですが、駅の北のイトーヨーカ堂さん、三井アウトレットパークにつきまして、今年の冬の時期にオープンする予定で今工事をされてます。その中で市が整備をしております公園の部分につきまして少しご説明をさせていただきたいと思っております。全体が12ヘクタールあるわけでございますが、その中で倉敷市がクラボウさんから譲って頂きましたのが、この駅に近い方の1ヘクタールの土地、それからこの真ん中の所にチボリ公園の時にはありましたが、倉敷用水沿いの用地をクラボウさんと交渉しまして市で使うことになりました。合計で約2ヘクタールの緑地を確保することになりました。こちらの緑道の部分は今ほぼ整備ができていますが、周りの部分がまだ工事中でございますので、秋のこの公園の工事と周りの工事ができる時までには少しでも早くオープンできればと思っておりますが、約2ヘクタールの緑の空間を市で整備させていただきたいと思っております。整備をする時に市の方でいろいろ考えておりましたが、一番には芝生広場の芝生の部分を多く造りたいということ、それから防災機能を持った公園にしたいということ。今回の震災の時にも東京の方で帰宅難民の方が大変何十万人も出られたということでありまして、市も駅の所から多くの方が行き来をされますので、ここに避難していただけるような、それから鉄道に乗れなくなった方がここで一次待機で

きるような、そして子どもさんが水と緑にも触合えるような場所として整備していきたいと思っております。夏ぐらいにかけまして整備していく予定です。名前を公募させていただきまして結果「倉敷みらい公園」という名前に決定させていただきました。皆さんいろいろな名前を言って下さいまして、その中でやはり未来の子どもたちに残していけるような場所にしてもらいたいということや、明るい倉敷市のまちを象徴するような名前にしてもらいたいという名前を希望していただく方が非常に多くいらっしゃいました。全体で何百人の方が応募して下さい、この前の議会で「倉敷みらい公園」と名前を決定いたしました。この公園ですが、ここの倉敷用水が片道約300メートルあります。行き来で600メートル。以前周りを一周するのに歩道がある所とない所がありました。市がせっかくここは緑の歩道の公園ということで計画いたしまして、事業者の方にここと繋がる歩道の部分を一周できるように確保してもらいたいと強く要望しておりました所、この一部は敷地の中ですが、敷地の中の方とも合わせましてぐるっとしましたら約1400メートルほどの距離になります。市の歩道と民間事業者の土地の中にあります歩道と両方あるんですが、合わせまして1.4キロということで、合計で約2キロを散歩をしていただけるようなコースを今回整備ができる予定となっております。こちらの部分でも地域のまち歩き、里歩きの愛育さんが作っていただいているマップに新たなコースができるといいと思っております。

大きな課題でございますが、この駅の北と駅の南を結ぶ道路でございます。寿町の踏切の所がいつも非常に混んでいます。今年は何とかこの施設の開業までの間にJRと交渉しまして今よりも少し広げていただくように、何とか工事をしていただけるように震災の前まではわりといい方向の返事でした。震災後は電車の部品もない状況ということで、まだ確実にできるかどうか返事はいただいているんですが、ここの踏切について今よりも幅を広げましょうということ。それから今天満屋さんの所をぐるっとなって踏切に行くようになっております。この踏切からまっすぐ旧2号線の429の所に行きます道につきましても、この踏切からまっすぐ大きな道に来れるように今年何とかできればこの冬の開業までにするように今一生懸命やっている所でございます。もちろん今の踏切と道の部分だけで全部解決するわけではないのですが、こちらの業者にはこの近くの駐車場もしくはJRを利用してもらいたいとか、例えば中庄とか北長瀬の方にも駐車場があります。そういう所の駐車場を使ってもらえるようにして、ここを少しでも混まないようにすることができないかと今検討してもらっている状況です。

今倉敷地区の大きなことでこの新しい駅の北の施設、そして何と言っても南の美観地区から倉敷駅周辺の整備を市として進めていかなければならないと思っております。駅の南の商店街さん、美観地区に人が来て下さるような、中心部に人が来て下さるような方策を商店街の皆さんと一緒に考えているのが現状でございます。それが大きく倉敷地区の駅周辺の課題。

水島地区につきましては、旧水島サロンがもうすぐオープンする予定です。新しく倉敷市の「環境交流スクエア」となり、形は違うんですが、芝生部分を多く取るような設計にしております。今倉敷市の全般的な施設整備の中で大事にしておりますのが芝生の部分、緑の部分の整備をこれまでよりも随分進めていこうとやっております。この水島サロンの「環境交流スクエア」についてもそうでございます。

児島の地域に今年秋にオープンしますが、いくつかの施設を複合しまして新しく造り替

えます。一つ一つ作りますとそれぞれに老朽化した時にお金がかかりますので、いくつか合築しましてコストを低くするというものでございます。これにつきましても芝生の広場を大きく取ったり、太陽光発電を付けたら、太陽光で電気の量を余り使わなくていいように大きく窓を取りまして光が入って来るような設計にしております。

玉島地区についても同じようにちょうど高度成長期にできました市の施設が随分古くなっておりますので、いくつかものを一体にしてやり替える方策にしまして、市の施策の整備を進めていきたいと思っております。

真備・船穂地域を合併いたしまして今年で丸5年経ったわけでございます。真備・船穂地域について整備もいくつか進めてきているのですが、せっかく農業が盛んな真備・船穂地域ですので、それを倉敷市の魅力の一つとして前に出して行きたいと思っております。

最後に今年平成23年度の予算で私の公約ですが、大きく変わりますのが小学校6年生までの子どもさんの医療費を公費で負担するというのをやっとな今年度実現できるようになりました。市の借金を順調に減らしつつ、なるべく将来に負担を残さない形でできるかどうかを検討してきたわけですが、何とか今年23年度から小学校6年生までの子どもさんの医療費を市の負担でできることになりました。もう一つは成人用肺炎球菌のワクチンの補助制度を設けたのがございます。いずれも近隣の大きな市ではまだ行っていませんが、市民の皆様が健康で長生きをしていただけるようにすることが市にとりまして一番大事なことでございます。肺炎球菌ワクチンの大人の分を70歳くらいに打っていただきますと肺炎にかかったりして病気になられる率が非常に減るということでございます。今年23年度から成人用肺炎球菌ワクチンにつきまして、医療機関で約8千円かかると伺っておりますが、そのうち市の方で3千円助成させていただくことにいたしておりますので、ぜひ皆さんお知り合いの方などお声を掛けていただければと思っております。

倉敷市全般として平成23年度から10年間のまちの姿を考えました「倉敷市第六次総合計画」を昨年一昨年とかけて市民の皆さんに作って頂きました。この計画は今後10年間の市の姿を現すものですが、その中で市民の皆さんが言って下さった倉敷市の将来の姿。一つには倉敷市の自然をしっかりと保ってそれを使っていこうということ。それから市内の企業や大学やまちの商店街の力等、人の力の豊かさをもっと発揮をしていこうと。それによって倉敷市が全国に個性が非常にあると言われるまちを作っていこうと。この三つを大きく総称しまして「自然の恵と人の豊かさで個性きらめく倉敷市を作っていきましょう」というのが今策定されました倉敷市の大きな今後の目標になっています。このような大きな目標の中でそれぞれの地域の皆様の活躍を倉敷市としても大変ご期待を申し上げているところであります。今日「地域力を活かすまちづくり」ということで、こちらの南公民館の方にも私も何度も皆様の行事の発表会とかでお伺いさせていただいたり、本当に活動が活発な地域だと思っております。こういう活動をもっと他の地域も取り入れたら皆が健康になるのにとか、もっと地域の中でこういう改良をやってもらったらいいのにとか、ご意見・ご質問等いただけたら幸いだと思っておりますので、よろしくお願い致します。

《参加者Aさん》

今日は2点、倉敷市としての取り組みをお尋ねしたいと思います。1点目は電気に関するスマートグリッド (smart grid)の取り組みです。経済産業省が予算措置をするということで、横浜、豊田市、京都の宮津市、北九州市が予算をもらって実証実験をやっている

る現状で、これからは多分原発が「原発NO」という流れになっていくだろうと。これが見解ですが、これを踏まえて学者の方もこれからはスマートグリッド (smart grid) でローカルな電力の需要と供給を賄っていくまちづくりになっていくだろうと言われていきます。その辺り倉敷市としてどういうビジョンをお持ちで、どういう情報収集を行っているのかというのが1点です。

もう1点は全くジャンルが変わりますが、障害者の作業所の職員の方に今何が課題になっていますかと聞いたら、就学前の障害を持たれているお子さんのデイサービス。親御さんが自宅でかかりっきりでお世話をしなくてはいけないと。高齢者の介護とはまた若干違うと思うんですが、発達障害があるので、障害のケアという意味合いの療育と、育てていくにあたってのケアという部分を含めてのデイサービスを受けたいけれども、なかなかそれに十分応えられる受け皿がないんだと。事業所としてもそういうニーズが高いけれども、受入れられていないのが現状だという事で、こういうサービスがあるということをつくさんの方に知っていただきたい。また行政、NPO等になるのかも知れませんが、就学前の子ども達の自宅外での療育、あるいは保護者の負担軽減という意味合いを含めたデイサービスの充実と。この辺りの現状がどうなっているのか。またそれに対してどういうビジョン、考えをもっておられるか、以上2点お願いします。

《市長》

最初のスマートグリッドですが、スマートグリッドというのは電気だったら電気を、一つには電気自動車が今電気を使いますと。家だったら太陽光発電で電気を家に蓄積いたします。もしくはエコキュート何かもあります。太陽光発電で家に電気を作りますと。その電気を使って電気自動車の分で家のコンセントで充電すれば自分で太陽から作った電気で自分がガソリンとか使わずに電気も車も動かせるし、調理のIHの分で料理もできて、この電気を自分の中で循環させる。非常にハイテクな電気自動車の場合は電気を取るばかりじゃなくて、外から走ってきて余ったら、電気自動車の充電器の方に太陽光発電の電気を充電しておいて家とやり取りをできる仕組み等があります。多分こういうのと言っていらっしやると思うんです。確かテレビでも何回か特集したり、最近非常に注目されていると伺っていますが、そういうものをスマートグリッド。スマートというのは頭がいいということだと思いますが「賢い電気のやり取り」だと思います。スマートタウンですね。町全体で自分の所で余ったら例えば街灯の電気の所に売りましょうとか、町全体でそういうことをやっていこうというスマートタウンという構想もあります。倉敷市は今この段階まで行っているかと言いますと、まず太陽光発電を非常に普及していきたいと思っているのが大きな所であります。以前は約一年間に百何十件くらい太陽光の補助をしていたのですが、私が就任いたしましたから一年間に約1000件太陽光発電のお家の補助をさせていただくことにいたしまして、少しでも自分の家で電気を作っていただいて、それを使っていたような方向で今やっております。もう一つは水島で作られておりますアイ・ミーブ (i-MiEV) を始めとする電気自動車の普及を進めていきたいということで電気自動車を買われる方には20万円の補助、それから国の方からもまだ何十万円の補助があります。ですので、少しでも値段を低くして買えるような仕組みを作ったり、充電器が街中にないと遠くに行った時に心配ですので、倉敷市役所にも備中県民局にもあります。岡山県内だいたい何十キロかの中でここここに行けば一箇所だいたい満タンになって

いればそんなに切れる事がないような箇所に充電器を置いてもらうようにしていきまして、そういうのを地図で作ったりして今進めております。まだスマートグリッドというまち全体でという所まで行っていないんですが、今はまず太陽光発電と電気自動車の普及に力を入れている所でございます。市の公共施設にも太陽光発電をなるべく新しくできるものについては入れているという考え方でやっております。

2つ目のご質問ですが、障がい者の方用の特に子どもさんのデイサービスについて今どういうサービスになっているのかということでもあります。特に重い障がいのある子どもさんの親御さんが一番困っていらっしゃることは、ずっと子どもさんに付いていなければならないと。全く家のことができなかったり、銀行にも行けなかったりするということで、日中で子どもさんを預かっていただけるサービスをもっと充実してもらいたいというご要望があります。現状は障がい福祉関係サービスの支給決定を受けている皆さんが、障がいのある子どもさんを日中預かっていただけるサービスを提供しております。今のところはまだサービス自体不足しているかも知れませんが、何とか拡充していけるようにと思っております。

国の方の動向は、国が補助をするのではなく、地方の方でやって下さいというようになっていきまして、もっと国の方にも言わないといけないと思っております。

(補足：療育を必要とする児童を対称に、日常生活における基本的な動作を修得し、集団生活に適応できるよう訓練を行なっている児童デイサービス事業所については、倉敷市は全国的に非常に多い地域ですが、近年、発達障害児又はその疑いのある児童の数に施設の受け皿が追いついていない状況がありますが、平成 24 年度にむけて新規開所予定の事業所が 4～5 事業所あるので、これにより、療育を必要とする待機児童の問題は解消される見込みです。

また、保護者の一時的な休息を目的としたサービスである日中一時支援事業については、平成 22 年度より報酬単価を増額し、新規に事業所が参入しやすい環境整備を実施することにより、年々受け入れ事業所が増えてきています。今後も引続き、関係法人等に働きかけをするなど事業所の充実に努めます。)

《参加者 B さん》

私は真備町出身で現在中庄に住んでいます。真備町には吉備真備が生まれた所として墓もあるしお宮もある。小さい時から親から、小学校へ入ると先生が吉備さまは学問の神様でそこへ参れば勉強がよくできるとよく小学校からも参ったものです。しかし最近歴史を勉強をしてみたら日本文化に非常に影響を与えた人はたくさんいると思いますが、真備くらい影響を与えた人はいないんじゃないかと思うんです。その真備が現在はほとんど皆さん頭に出ない。雑誌や岡山県の広報紙等にも吉備様があるということも存在も書いてない。これは非常に遺憾なことだと思いきまして、何とかして吉備真備を PR しなければと。吉備様を PR する顕彰委員会を作って多くの人々に参加してもらって、全国的に働き掛けることが必要じゃないかと思うんです。この前長野知事は吉備様の偉大な功績を称えるために真備に記念碑が建ったんです。立派なものができていました。私も中国が好きですから中国を旅行して、郷里の吉備様を見るといかにも貧弱なんです。中国の留学生に対してもあれだけのことをしてくれているのに、日本文化に大きな影響を与えた真備があのままではないのかと感じています。そういう意味で真備の顕彰委員会を作って、全国に PR され

ば倉敷の発展になる。PRの方法は色々考えて実行委員会の人に集まってもらっていい考えを出すということでお願いしたいです。

《市長》

多分Bさんは今日ご参加の皆さんの中で一番ご年配でいらっしゃると思います。Bさん今年何歳でいらっしゃいますか。これまでの市民ふれあいトーク参加者の中で最高齢でございます。

《参加者Bさん》

明治42年1909年101歳。

私の一生の願いとして、PRする組織をきちっと作りたい。

《市長》

実はBさんは一昨年、今倉敷市とは鎮江市が姉妹友好都市ですが、倉敷市の日中友好協会が主催の会に中国へ一緒に行って頂きまして、その時既にちょうど100歳でした。今年101歳です、最高齢の。真備町ご出身ということで、先ほどの真備の話をしましたが、真備町・船穂町が倉敷市と一緒になしまして、われわれ市役所の者も真備と船穂のことについて色々市のPRをしないといけないので、調べておりました中で、Bさん言われるように吉備真備公は日本国のほとんど多くの文化をすべからく中国から持って来られました非常に貢献をされた方でいらっしゃいます。例えばカタカナをこちらへ作られた。それから囲碁を中国から持って来られた。倉敷市が大山名人ゆかりのご当地でございますが、倉敷市が将棋ばかり振興しているのも真備の方では囲碁を持ってきたんだからもっと真備を、囲碁を振興してもらいたいという声も非常に多くていらっしゃいまして、実はご報告をしてなかったんですが、今年の初めに真備公の顕彰第一弾として囲碁の「吉備真備杯倉敷市囲碁大会」の第一回を今年やったんです。まだまだ小さいですが、約200人参加して頂きました。今後もっと大きくしていきたいと思っています。いろいろ話がありまして、真備町が倉敷市になったので例えば倉敷市長杯がいいじゃないかという話もあったんですが、私はぜひ「吉備真備杯」にした方がいいと言ったんです。倉敷市だけを宣伝するのではなくて、吉備真備の顕彰をした方がいいということで第一弾として吉備真備杯の囲碁の顕彰を今始めております。これだけに留まることなくしっかり顕彰していきたいと思っておりますが、またこれが広がるようにお力を貸していただければと思っております。

《参加者Bさん》

蹴鞠、これは中国から持ってきたんです。平安時代は貴族とかスポーツ何かも盛んだっただけでも、今はだんだん衰えてますけど。今でも野球もテニスもバレーボールも皆ボールでしょう。運動の基礎のボールを中国から持って帰ったということは、運動会の先駆者でもあるでしょう。

《市長》

分かりました。蹴鞠とかも確か去年NHKの番組で「大仏開眼」という大きなドラマで吉備真備さんが主人公になったのもテレビでやりましたのもっと広めるように、倉敷市

の大きな一つの地域ですので、しっかりやりたいと思います。

《参加者Cさん》

昨年、福祉車両をライトエースからノアに買い換えて頂きましてありがとうございました。保健所とかの行事等で難病患者さんやハンデを持たれた方たちが利用していらっしゃいます。4月から福祉バスはプラザの方に車庫から移動になり、小さい方の福祉車両が保健所の方たちの駐車場に、倉敷リハビリテーション前の駐車場に置いてあるんですが、プラザの横の所に事業団の送迎の営業の分の車両が5台そこに残っています。それを福祉車両と入れ替えていただけたらありがたいと思って。私たちが利用して帰ってきた時に社協の方たちに確認していただけたらありがたいと思いますが、ノアを購入して利用している方たちのきちとしたご報告がなされてなくて確認したんですが、傷が付いていたので社協の方はご存知ですかと聞いたら報告を受けてないと言われた。やはり借りた時には確認を速やかにしていただけたらありがたいと思いました。

もう一つは、倉敷市の市役所の屋外に多目的トイレを設置していただきたい。

《参加者Cさん》

設置の場所はどこというのではなく、市役所の駐車場は美観地区とか観光に来られた方たちにも駐車スペースで多分利用していただける。この度、県の方が障がい者、高齢者とかいろんな方たちのパーキングの部分も、倉敷の種松山の駐車場にも車いすマークが入りました。とりあえず駐車場を整えていただけたらバリアの部分で障がい者、高齢者いろんな方たちが外出するにあたってはお手洗いは必ず必要なので、ご検討していただきたいと思います。

《市長》

最初の福祉車両の件は、社協、福祉事業団と確認してみたいと思います。細かい事は私も聞いておりませんすみません。2つ目の屋外の多目的トイレの整備についてですが、市役所の東駐車場の所のトイレは作った時は非常に最先端なトイレだったとは聞いているんですが、多目的の部分は今整備されてないですね。確かにあそこの近くと言えば、市役所の中には多目的がありますが、外がないですね。公共施設の多目的トイレの設置については、年次計画でやりたいと思っているのですが、その中で今言っていたような市役所東駐車場は結構いろんな所へ皆さんが行かれる時の朝の待ち合わせ場所等になっていらっしゃることも伺っておりますので、なるべく前の方の順番で設備できればいいかとは思ったんですが、設備の計画もあると思いますので、検討させていただきたいと思います。市内のある程度の公共の場所で多目的トイレを障がい者の方が使っていただきやすいような設備をしていくことは大事だと思いました。貴重なご意見いただきましてありがとうございます。

《参加者Dさん》

2つお願いします。1つはスポーツのことで、今年は大震災があったので、縮小ムードは仕方ないと思うんですが音楽祭が今年は例年に比べて寂しかったです。ツーデーマーチも市長さん大分力を入れてやったんですが。私は毎朝ウォーキングしていてホテルや観光

旅館の方に聞くとキャンセルが非常に多かった。それからこの辺だったら阿智神社に毎年花見に行くんですが、今年はぼんぼりもなく、結構お客さんは来てわりと静かな良い花見ではあったんですが、やっぱりぼんぼりがないと寂しい。その後僕は友達に誘われてフェリーで瀬戸内海に行ったら山全体が桜なんです。全体的に縮小ムードだからそういう人が口コミでたくさん来ている。外人さんも10人くらい来ていました。そこは派手にということはないんですが、ちゃんとぼんぼりもあって島なのにたくさんお客さんが来られている。今年は日本人は元気がないと留学生の方が言うんですが、外人の方は百三十数カ国の方が義援金を集めてやってくれるんだけど、震災だとシュンとならずにやっぱり例年やっているイベントはささやかでもちゃんとやった方がいいのではなからうか。あんまり屈み込んでしまうと日本全体が沈没したようになるから、東北、関東の人は大変ですが、やっぱり日本全部同じように辛いムードとなるのも考え物なので、倉敷はハートランド倉敷がもう間近ですよ。市として縮小ムードでやりなさいと行政からお達しをされているんですか。

《市長》

ハートランド倉敷は委員会形式で、もちろんやめることは考えてないんですが、少しはや控えた方がいいんじゃないのかとか、そういう声も出ておまして、少しは縮小にならざるを得ないと思っているんですが。

《参加者Dさん》

市民の自主性に任すということでもいいですね。スポーツのことですが、皆さんが知っている19歳の石川遼がアメリカに行つてこないだ活躍したんですが、賞金2億円くらい稼いだらうということで、全額提供することになっています。その前にイチローもしているし、スポーツマンが100億円したとか特別なお金持ちの人はいるけど、実際自分でスポーツに身を投じてあれだけの活躍をして、子どもに物凄く励みになるし目標になると思うんです。市長もスポーツ好きなので、倉敷もこの間倉工の学生に聞いたら花園に行つて頑張ってきたと。ラグビーが結構強いらしいですが、ゴルフも非常に上手い人がいて、将来プロゴルファーになる人もいるし、毎朝散歩をしていて小・中学生に冗談で「おい将来のイチロー」と声を掛けるとニコツとして面白いこと言うおっちゃんだと感心するんです。すぐ洗脳されるわけじゃないでしょうが、大人が子どもに声を掛けて私たちのことを見ているということになれば、その子も小学校、中学校、高校に行つて将来甲子園で活躍するだろうし、将来プロ野球や大リーグで頑張ると思うので、将来イチローみたいなのが出るとか知れないし、地元倉敷からそういうのが出ると全世界に発信するという市長の公約にも非常に合致すると思います。前もお願いしましたが、楽天の星野監督がこないだテレビで男泣きしていましたが、ああいうのは励みになるじゃないですか。やっぱり頑張つて欲しい、市としてもバックアップして欲しいと。よろしくお願ひします。

《市長》

過剰な縮小ムードにはならないようには気を付けたいと思つております。あまりどんちゃんするのもなかなかまだ難しいとは思つてんですが、両方とも考えてしっかりやりたいと思ひます。スポーツのことは本当にいいことを言つていただきまして、各分野で甲子園に

行ったり花園に行かれたり、スケートも高橋大輔くんの次を担うと言われている連島の田中刑事くんといいますが、私も本当にファンの一員ですが、非常に素晴らしい子どもさんもいらっしゃいますので、スポーツを元気に、スポーツをやれば親や地域の皆さんも応援して下さるので子どももやる気が出ると思っていますので、スポーツ振興は大きな倉敷市の政策の1つだと思って頑張りたいと思います。

《参加者Eさん》

私は精神障がい者のボランティアをしています。先だって障がい者交流会にメッセージを頂きましてありがとうございました。そのことについてですが、この時代本当にストレスが原因でうつ病になり療養する傾向にある中、そういう人たちが当たり前の皆と同じような生活ができる、心の健康を取り戻す、サロンで多くのいろんな人と出会ってふれあって和む。信頼関係を取り戻し自分らしく生きるという心の健康作りが私たちの使命だと考えています。サロンでは情報交換しながらケアサポート、仲間同士の支え合いということを中心に考えて講座をやっています。心の病気についてこれまで適切な情報が一般の人の中に浸透していないものですから、偏見の目で見たり、差別的な環境にあったり、なかなか自分らしい生活ができにくい状態にあります。行政でも養成講座を毎年やっているんですが、なかなかボランティアとして結びつかないです。30名余りの方が毎年ボランティア講座を受けます。4日間ですが、本当になかなかボランティアというのは他のボランティアとは違って難しいと思うんですが、さりげなく自分が何かしないといけないと思いがらすると余計に自分が苦しくなったり、どう声を掛けていいか分からなかったりなかなか難しいんですが、そうした人たちが少しでも本当に自分らしく生きる心の健康を取り戻し、皆と同じような生活ができる場の提供、そういう社会になってくれればいいんじゃないかと。今日はパンフレットを持って来ているので、関心のある方は健康福祉プラザの3階の和室で毎週水曜午後1時から4時過ぎまで障がい者の交流会、情報交換等をしておりますので。今日は皆さんの力をお借りしてその輪を広げていきたいと思っております。そのために当事者の障がい者の体験談も出前講座をしたいと思っておりますので、要請があれば出掛けていきますし、関心がある方はプラザの方へいらっしゃってくれたら嬉しいです。ご協力お願いします。

《市長》

特に心の病、心の病気のことにのご存じない方が非常に多くて、それで誤解も生まれていると思っておりますので、市としても例えば講座をお願いしたり、心の病気のことに知っていただきやすいような環境作りについて後押ししていきたいと思っております。

《参加者Fさん》

。1点目は今の倉敷市、旧3市合併して40数年経つのですが、当初から言われている旧3市が有機的に繋がっているような感じがしない。例えばいろいろなやり方はあるんですが、交通の環状線的なものを造るとなかなか費用もかかって大変だと思うんですが。2つ目は水島に主だった企業が80数社あるのですが、20年くらい前に水島臨鉄が高架になって交通もだいぶそれで良くなった。この水島地区が発展していない、昭和40年代の当初から比べますとだんだん朽ちていくと言ったら言い過ぎですが、市の行政として民

活が発活化するような何らかの施策を講じたらどうかと、20年位前に今の岡大の教授をされている中村先生がメンバーに入って水島の民生活を何とかしようというのは、市の行政の中の土地開発か何かの資料が残っていると思うんですが、そういったことをやっていただいたらどうかと。

それから煤煙の問題が出ましたが、一つの提案で、和歌山県の和歌山市の中に「住金」という大きい企業がある。いろいろ過去の問題があったそうなんですが、市民と一体化してモニター制度的なことをやって、完全に企業と周辺地域の皆さんが一体化していて非常にいろんな意味で上手くいっていると過去に聞いたことがあります。そういったことを考えられたらどうかと。

《市長》

まず、3市合併してからの一体感がまだまだ繋がっているようにないというお話でございました。今は真備・船穂も合併してかなり大きくなったんですが、道路等の面につきましては当初よりも南北については児島に行く道についても国体道路が繋がったことによって時間も約10分か10数分は近くなっているように思います。東西にしましても、バイパスが4車線化をしまして少し混まなくなってきたように感じている方もいらっしゃると思うんですが、そういう点など国の方にも倉敷市の特有な歴史の観点から、やっぱり交通網の整備は非常に重要だということを第一に今後もお願いしてやっていきたいと思っております。

水島の企業さんについての点ですが、水島地域のコンビナートということではあるんですが、玉島ハーバーアイランドにこの3月に航空機産業の誘致をすることができました。岡山県と協力しまして、ずっと土地を空けておいても固定資産税も払っていただけないので、少しは補助金を出すのですが、何とかこちらへ来てもらって次へ繋がるようにと愛知県と随分競争しまして、こちらの方へ来ていただくことになりました。今後、航空機産業が来ていただければ関連産業もこちらの方に少しずつ誘致できたり、こちらの企業を使っただけになる等繋がりも出てくるかと思っております。玉島に来ていただきます「日本エアロフォージ」さんという会社につきまして市として非常に期待しております。

最後に言われました煤煙など、規制の問題についてはコンビナートの企業さんが数値を測ってなかったり等もありましたので、しっかりと基準を守ってもらえるように申し込みたいと思っております。水島が発展しまして暫く経って、水島の地域の部分もそうですが、やっぱりまちの手入れをしないといけないですね。水島の中央公園を始めとして、多くの所が出てきているかと思っておりますので、そういう所を計画的にやっていきたいと思っております。

《参加者Gさん》

旭丘の青少年を育てる会のGと申します。2点。1点は青少年を育てる会やコミュニティ、社協と色々できているんですが、補助金の方は青少年を育てる会も減ってきています。その中で1点今話が出ましたが、体育振興の体育指導員。実際には各学区に3、4名いると思います。うちの学区にもおりますが、1年に1回顔を見るか見ないか。そういう人が体育指導員をして毎年何万円もお金をもらっています。地区で運動会をするといっても金額は減ってきています。一度スポーツ振興課へ行って話を聞きましたら「私の所は水

島ですから、水島の方で決められてからその人を任命し金を出しています。向こうから来るから何にも言えません」という返事でした。これが第1点です。ただ、旭丘は育てる会はありません。

もう1点の話になりますけど、社協を作ってくださいということになっているんですが、旭丘学区には1つの町を二分する町があります。旭丘に200戸ほど、倉敷南の方へ何百戸あります。費用も両方で案分されます。そうしたらその町が分裂するんじゃないかと。旭丘は水島ですから、水島の方になります。そうすれば行政も全部倉敷に行っている者が旭丘という、育てる会でまとめている地区が社協を作るためにあって、今度は中が分裂するという恐れを持っております。その辺りをどうお考えかお願いします。

《市長》

体育指導員さんの件につきましては、ちょっと調べてみます。もし今お話されたようなことであれば、全く活動をされてないというのは良くないと思います。ただ地域の方でこの人にと決められているのは全地区そのような形にはなっていると思うんですが、ただ実質的に指導をやっぱりしていただかないといけないと思いますので、よく調べさせていただきたいと思います。

それから、社協のことでございます。学区を単位に作っていただきたいということで、今全国に比べて倉敷市は社協の設置がまだまだ数が少ないのでお願いをして来ていると思っておりますが、確かに学区と小学校の地域の区域が違う所は、今言われたような問題点があると思います。小学校区で分けると半分になるから良くないということですよ。確かにそうですね。社協の方にその問題点を持って考え方を聞いてみたいと思います。今できている所はほとんどが学区と全部一緒の所が多いと思いますが、そういう点について問題点があることはよく分かりました。まだできてない理由もそういうことなんですかね。教えて頂きますとありがとうございます。

《参加者Hさん》

私は子どもが旭丘小学校と南中学校に通っています。今日は3件確認したいことがあります。小学校の方では今年体育館の耐震工事があります。ちょうど震災もあって、実際に耐震工事をして基準値というのが、地震が起きてから変わってくるものなのか。もし耐震工事をしてその基準値が変わったところで駄目にならないのかという問題と、2つ目ですが小学校の方で施設開放をやっています。その中でプールだけは施設開放にはなってないので、どういう形でプールは施設開放になってないのかを確認したい。

中学校ですが、去年子どもが中学校に上がりすぐ運動会があったんですが、私も初めて運動会を見に行き本当に狭くて驚きました。親が入るスペースがない。子どもたちの運動会なのに親が見れない。ましてやじいさん・ばあさんが運動会に来る環境でもない。何のために運動会をやっているのかと思えるくらいなので、本当に「地域力を活かす」と今日掲げているので、その辺を考えてもらい地域、家庭、学校と一体になってできるようにお願いします。

《市長》

工事の基準は国から国の基準を満たすようにということで来ます。それを変えるという

連絡にはなっていないですが、今回の地震等についても津波で多くの学校等が被災されていますが、体育館が壊れたことにはなっていないみたいですので、多分文科省から建物の基準について変えるという通達は来ないと思います。今の工事基準で大丈夫じゃないかと考えております。

2つ目の学校のプールの施設開放につきましては、間違っていたらご連絡差し上げたいと思いますが、安全面の観点で、資格を持った方がずっと開いてる間は付いていただかなければできないような制約があるのではと思います。それで開放が難しいのではないかとと思うんですが、教育委員会の方に確認したいと思います。資格があって、開放しましたら使われる場合の料金等があります、電気代等の面をどうするかという検討も必要になると思うんですが、今のところないということはいくつかの問題点があって、進めてないのではないかと思いましたが、確認したいと思います。

南中学校のことにつきましては、学校が何とかならないかということで、今参観に行かれた親御さんとして率直なご感想をいただいたと思います。とにかく学校で子どもさんの人数が増えていることはよく承知いたしております。どうすればそれが解決できるのかということで運動場を広げるのか、給食調理場をどうかするのか。しかし給食調理場についても、その単独だけをどうすればいいということではないので、他の分と併せて解決策を見ていかないといけませんので、今非常に困っている現状です。ただ今言って頂きましたように、地域のコミュニティの皆さんからすでにご要望書もいただいておりますので、市といたしまして何とか解決の方向を見つけなければいけない気持ちでおりますことだけは分かっていたいただければと思っております。

《参加者 I さん》

私は非常に自分の生活に至近な問題点を持っているということからどんどん広げて行って、市の各課の対応についてもう少し私たちの身になったようなご助言や心の上で支えるような態度を取っていただいたら凄くたくさんの懸案事項がどんどん円滑に実現できるのではないかと。私の家の近くは私道で舗装してございません。そこを自分の家の生活の入り口にしている建物は約13棟あります。従って日々物凄い車の出入りがご本人たち及び宅急便、郵便、お友達等が盛んに来られます。もう、取り残された道になっています。それに限らないですが、自分が代表者ではないですが、気付いた時に市の方の各課に出掛けて行って対応をお願いすることが非常に多い。

もう一つは市民提案制度で多数の提案と回答をパソコンで一語一句見ております。それから市民モニターをしておりますので、市がされるいろいろなアンケートに答えるようなこと、こういう企画があるけど、どういうお考えを持っているかということにも協力しております。そういう中で、市が各地域に自分の方から入り込むという言葉がなかなか出てこない。具体的には私道の共有者たちの何かしたいことに対する合意を持ってきたら対応させていただきますと。ところが地域には関係者集団でもととの組織がありません。従って地域で合意を持って来いと言っても、公共施設をこれからやりたいと言っても私権が関係するものについては人間のことで必ず賛成も反対もあるわけです。その地域の代表者として認められていると思っていない人がまとめ役になってもできないのです。そういうことを市に始終言うんですが、残念ながら私たちは自治会等に口を出す事はまかりならない組織であるとおっしゃいますので、それはおかしいではないかと始終言っている

んです。ただ、私は一つだけ成功例を持っています。似たような問題が起こった時にたまたま市の担当職員がこういうことをしたいと言って、私も関係者だと向こうも分かるものですから声を掛けて下さった。そこから始まっているいろんな側面で協議の行く末をサポートするのではなく、協議会を皆さん作って下さいと。その時に協議が進むようには努力します。実際色んなことをしていただいて実現したのもございます。要は倉敷の劣悪な私道・生活道。それから計画道路には入っているけれど、30年経ってもまだ開通してない部分もいっぱいあります。そう言った時に今最初のようなお答えが出てくるのは問題だと思いますので、その辺り市長や市の幹部は小さな課に回答までお任せしていたら非常に細かい回答しか出てこないし、権力も小さいですから、自分の課の固持だけのことしかおっしゃりませんので、聞いていると何とも面映ゆい感じがします。

《市長》

なかなか市の方で私道の整備について、合意がない所に入り込んでいくのは難しいということがあります。一方で今言われましたように、その道路と市の大きな道路がもし関係がある場合には市にとっても関係が出てくる道路ですので、どういう事例だったか分からないですが、市としてもぜひ一緒に進めていただきたいということで一緒に声を掛けさせていただいて進んだ部分があったのかも知れません。ただ言われますように、もっと市の職員が地域の中の方に入って行ったり皆さんの声を伺わせていただきたいとは私自身も思っておりますので、少しずつでもそういう姿勢に職員さんも皆なってもらえるように言っていきたいと思っております。職員数も限られておりますので、全てをなかなか見れない部分もあるかと思っておりますので、そういう面で地域のコミュニティ協議会さんとか町内会の皆さんを通じて困っていること等市の方へ言っていただいたりするのも一つの方法かと思っております。いずれにしろ市の方からも姿勢をもっと変えていくことが必要かと思っております。

《参加者Jさん》

民生委員をしております。1つは倉敷市の民生委員の大会に年1回出ます。一番奇異に思っているのが国旗も市旗もなし。こういう公の会議の式場で国旗も倉敷市の市旗もない。どう見ても違和感を感じます。市の方から国旗も市旗も掲げてはいけないと言われてかけてないのか。それとも、忘れていると私は思えないんですが。日本の国として恥ずかしいと思えますし、情けないと。ぜひ市長、指導力をお願いします。

もう1点、高齢という線引き、厚生省が65歳としておりますが、現状に合っておりません。私現在70歳です。決して高齢者と思っておりません。なぜそういうことを言うかと申しますと、どんどん高齢者の数が増えて民生委員の数は増えておりません。どっちかと言うと欠員が出てくるような時代です。ということは一人当たりに対する時間が本当に何秒、何分という単位になってくると思います。私が思うに75、あるいは80歳以上が本当は高齢者じゃないかという気がしています。市長に言っても厚生省に言わないと何なりません、時代がどんどん変わって当時作った制度は今では合っていないことを本省に行った時に言って頂ければと思っております。

もう1点、早島町に去年グランドゴルフ場を新しく造られた話を先日聞きました。倉敷市でおそらくグランドゴルフの人口は2、3万とかになっていると思っておりますが専用のグラ

ンドがございません。福田の陸上競技場、マスカット球場の補助グラウンドを使わせていただいておりますが、専用ではないので相手の方も迷惑だろうと思います。私たちももっというグラウンドならと感じています。予算面もあるでしょうが、施設はあまりありません。土地と芝生があれば結構ですので、大いに考えていただければ。

《市長》

まず民生委員・児童委員さんの会議で国旗・市旗がないのは市の方から付けてはいけないとか必ず付けて下さいとかは何も言ってないと思います。でも民生委員・児童委員さんは国の方からと市の方からの任命でなっておりますので、旗を掲げることもちろんできるはずでございます。強行に反対される方は多分いないと思いますので、年に1回の大きな会議の時に少なくとも3年に1回の任期をお願いする時に市民会館であります、その時くらいはあった方がいいと私は思いました。研修会の時等、各局で持っております旗の数が限られていてあっちの会場こっちの会場と貸し出していないかも知れませんが、全体で同じ時にいろんな例えばスポーツがあつて旗を使っている等あるかも知れませんが、聞いてみます。旗代だったらできると思います。掲げるなら国旗と倉敷市の旗ですよね。両方から任命をさせていただきますので、検討させていただきます。

それから、60歳、65歳、70歳の線引き。私も3月末に市の職員さんの60歳の定年の式がありました時、皆で集まってご苦労様でしたと話をするんですが、この人も定年なのかと思うくらい皆本当に若いんです。歳は60歳だけど実際見た感じは52歳くらいとか、少なくとも5歳や7、8歳は若いと思います。確かに国の方に高齢者という線引きについてもっと見直しをした方がいいのではないかと意見としては厚生省に行った時は言いたいと思います。ただそれどころと変えて下さるかは分かりませんが、やっぱり日本の福祉制度全般から見て必要な方を福祉でするのは一番重要だと思います。そうなるように意見は言っていきたいと思います。

最後にグラウンドゴルフのこと。すぐにできるともできないとも申し上げられないですが、グラウンドゴルフの人口が非常に増えていることは良く分かりますし、グラウンドゴルフをやっている方は皆さん健康です。国民健康保険もあまり使われないので市の予算としては大変助かるわけでございます。ゲートボールの方もいらっしゃいます。そういうまい循環が健康スポーツをすることによって皆さんが健康で長生きしていただけるような方向に市の中で検討させていただきたいと思っております。土地の場所もあると思いますが、駅前の芝生は難しいわけでございますが、場所も検討して何か実現できればいいと思います。具体的にここだという検討はしてないですが、頭の中に入れておるつもりです。

大変延長しまして申し訳ありませんでした。南中学校の運動場、グラウンドゴルフ場、福祉のこと等を始めとして幅広いご意見をいただきましてありがとうございます。このご意見を市の中での議論に反映させたり、私がどういう分野を重点的に予算を付けていったり整備していくかを決めていく中で参考にさせていただきたいと思っております。今日は夕方の貴重なお時間をどうもありがとうございました。